



2023年11月12日
第62号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ

<http://www.ireu-yokohama1.jp/>



横浜支社社友会「エンゲージメント調査結果」

一般社員と管理者で意識に大きな乖離！ 「経営理念への共感」C-評価！？こんな会社で大丈夫！？

横浜支社社友会が実施したエンゲージメントスコア調査結果

回答率17.0%

	有効回答数	個人としての意識	会社への共感	経営理念への共感	安心感	組織風土	発言機会	コミュニケーション
管理者	213	A	A	A	A	D	B	B
一般社員	172	C+	C	C-	B	E	C-	C-
対策の必要	—	○	○	◎	○	◎	○	○

※A~E(Cは3段階)の7段階評価



回答率17.0% — 職場風土E評価！？

一般社員と管理者に乖離！ 経営理念に共感しない？

その一方で...

喜勢副社長「社友会を経営のパートナーとして育成」

ACCESS 第 683 号で喜勢副社長はインタビューに次のように答えている。「組合に所属していない8割以上の社員との関係をどう作っていくかという事は重要な経営課題となっています。今、我々は組織再編をはじめとした様々な構造改革を通じて、決められたことをしっかり守るといふこれまでのトップダウンの方向性と社員からの様々な発意やチャレンジというボトムアップの方向性を経営というステージで融合させることで、社員一人ひとりが経営への参画意識を持って仕事をする、そうした『社員と会社との新しい関係』の構築を目指していきます。現状の中でその大きな活躍を期待しているのが社友会であり、社友会が経営のパートナーであるものそうした意味からです。(中略)組合に所属していない多くの社員をまとめている社友会とは様々な場面での意見交換を通じて経営のパートナーとして育成していく考えであります。」



社友会の会員の中でも「経営理念」や「組織風土」「発言機会」「コミュニケーション」に課題を感じている
その一方で管理者は多くの項目で「A評価」 この乖離は何か？
そして喜勢副社長は「社友会の育成」と言う それって...

社友会と決別し 今すぐJR東労組に結集しよう！